

第1回 ガイダンス

- ・ 今週は講義の概要を説明するので、それで受講するかどうか決めてください。

(1) 講義を通じてどのような能力を身につけるのか？

- ・ 米英を中心に英文資料を収集し、国際政治経済上の諸トピックに関する事実・諸見解を整理し、自らの一定の見解をもつ力を身につけることを目標にします。
- ・ ペーパー・インターネットを通じて、新聞・雑誌・政府文書・議会文書・シンクタンクの各種報告書等できるだけ色々なタイプの英文を読むようにします。
- ・ まず、情報収集のアンテナを広げること。具体的には定点観測するインターネットサイト・紙誌を持つこと。次に、膨大な情報を取捨選択する力を身につけること。

(2) どのようなトピックを検討するか？

「9・11以降、激動する国際政治経済とそこにおける日本の針路」が基本テーマ

- ・ さしあたり以下の項目を考えている。情勢の変化に応じて変更するかもしれない。

- ①「ネオコン」って何？
- ②米欧対立をどうみるか？
- ③イラク復興問題と日本の位置
- ④北朝鮮危機にどう対応するか？

余裕があれば、他のテーマについても検討します。

(3) 講義の進め方

●講義

- ・ 前の週に、次の週に読む英文のプリントを配布します。欠席した場合は、経済学部研究棟7階坂出研究室前のボックスにコピー残部をとりに行くか、他の受講者にコピーさせてもらってください。
- ・ 受講者は、最低限、このプリントを、(辞書を引いて) 読んできてください。
- ・ 講義では、英文を一定部分毎にランダムに受講者に当てますので、日本語に訳してください。
- ・ 講義では、背景にある問題について、教官から適宜解説します。また、受講者も、積極的にディスカッションに参加してください。

●講義の後に

- ・ 講義では、参考資料として、テーマに関連するサイトを紹介しますので、それらのサイトを各自閲覧・検討してください。そこで面白い記事があれば、メール等で紹介してく

ださい。

●レポート

- ・ この講義では、定期試験を実施しません。その代わりに、上記のテーマないし、それ以外の各自が重要だと思ふ国際政治経済上のテーマとそこにおける日本の針路（日本人以外の方は自国の針路でも可）について日本語でレポートを作成してもらいます。6月末締め切り、MS-Word2000形式、A4（40字×40行）7頁以上（表紙・図表除く）。
- ・ 7月の講義は、受講者によるレポートの交流・ディスカッションに当てる予定です。

（4）受講の条件と成績評価の方法

●コンピュータの使用－①ホームページ閲覧②メール③MS-Word(2000)④pdfファイル

- ・ 大学のコンピュータ又は自分のコンピュータを通じて、①ホームページ閲覧・②メールの送受信・③ワード文書の作成・④Adobe Acrobat(pdf)ファイルの閲覧ができること。  
（大学のマシン（法経第三教室、情報演習室等）の使用については参考資料をご覧ください）①②に関しては、次週（15日）までにできるようになってください。③はレポート作成までに。④については、講義中に説明します。①－④は、いずれも今日では、社会に参加するうえでの最低限の要件ともいえますので、これを機会に習得してください。
- ・ 受講を希望する方は、各自の氏名・メールアドレス・学部・回生・学生番号を13日（日）までに坂出（sakade@econ.kyoto-u.ac.jp）まで送信してください。できない方は次週講義後相談しましょう。
- ・ 講義に必要な資料、関連資料などをメールで配信します。また、質問・意見などもメールでお寄せください。

●成績評価の方法

- ・ ①毎回の講義での出席・発表と②上記レポートを総合的に評価します。レポートの評価のポイントは、適切な資料と事実に基づいているか？客観的であるか？自らの見解が明確であるか？などです。もちろん、剽窃・盗用の類は厳しくチェックします。

（5）その他

- ・ 後期の講義（経済英語 B）では、「アメリカ企業・産業の調査・分析」をテーマとする予定です。

0